

長泉町部活動地域移行推進計画（概略版）

夢に向かって、いきいきと輝く中学生 ～長泉モデル～

なぜ部活動が地域クラブに移行するのか

全国の中学校では、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術的な活動に継続して親しむ機会を確保するために部活動改革に取り組んでいます。子どもの意識の多様化、少子化、教員の働き方改革という現状に対して、令和4年にスポーツ庁と文化庁から部活動の地域移行に関する提言を受け、「学校部活動及び新たな地域クラブの活動の在り方に関する総合的なガイドライン」が策定されました。また、県においても、令和5年に「学校部活動の地域連携や地域クラブの在り方に関する方針」が示されました。そのなかで、学校部活動を地域と連携して活動したり、将来的には地域クラブに移行したりしていく方針が示されました。「地域の子どもたちは地域で育てる」という理念のもとに部活動の地域移行を進めています。

中学校の部活動の現状

両中学校の生徒数は、今後、数年間は横ばいであり、その後は微減になると予想されます。

現在、長中・北中では、次の部活動が活動しています。

（運動部）野球・サッカー・ソフトボール・陸上競技・男女ソフトテニス（男女）

卓球（男女）・バレーボール（男女）・バスケットボール（男女）・新体操（長中）

（文化部）吹奏楽・美術・パソコン

※部活動は自由加入になっています。加入していない生徒や学校の部活動ではないクラブチームで活動している生徒もいます。

中学校では、国や長泉町の部活動ガイドラインに基づいて部活動が行われています。

「部活動ガイドライン」とは

- | | |
|------|---|
| 活動日 | ・活動にあたり週当たり2日以上以上の休養日を設ける。（平日に1日以上、土日は、どちらか1日以上とする。） |
| 活動時間 | ・平日の活動は2時間程度、土日の活動は3時間程度とする。
・長期休業中の活動は3時間程度とする。 |
| その他 | ・部活動が生徒にとって過度な負担とならないようにする。
・練習試合や大会・コンクール等への参加については、無理のない範囲とする。 |

地域の力で子供を育てる

現在、中学校では「部活動のガイドライン」を遵守した活動を行っています。そのなかで教員は、生徒の気持ちを大切に、心の成長にもつながるように指導を行っています。しかし、学校においては、社会の変化に応じて授業研究や生徒指導により注力していくことが求められ、部活動においては、地域の人材を生かした活動になっていくことが求められています。

このことから、「地域の力で子供を育てる」ことをめざし、教員をはじめ専門的な指導ができる方や地域の方が、子供たちの指導を行っていくことで、地域人材を生かし、地域の活性化につなげていきます。

～長泉モデルの基本方針～

移行の基本的な考え方

長泉町の現状にあった持続可能な活動を創設し、地域全体で子供たちの活動を支えていきます。スポーツ活動をはじめ文化芸術的な活動も大切に、多様な活動を展開していきます。そのために地域の方々の協力や支援を広げていき、長泉モデルとして目指す姿に向かって地域移行を進めていきます。

長泉の目指す姿

- ・夢に向かって、いきいきと輝く中学生
- ・子どもと向き合う時間を大切にする教師
- ・スポーツや文化活動を通して生徒と関わる地域の人々

移行の基本的な方針

- ① 生徒のニーズに応える多様な活動を整えていきます。
- ② 部活動の地域連携や土日の活動から始めて地域クラブへ移行していきます。
- ③ 地域の方々の協力を得て生徒の活動を支援していきます。

「長泉町部活動地域移行推進協議会」を設置して、クラブへの移行を推進していきます。

令和3年、長泉町の現状にあった部活動の地域移行をめざし、基本方針や全体的な計画の策定を行うために設置した協議会です。スポーツ協会や学校関係者、行政担当課など現在11人の委員で組織しています。

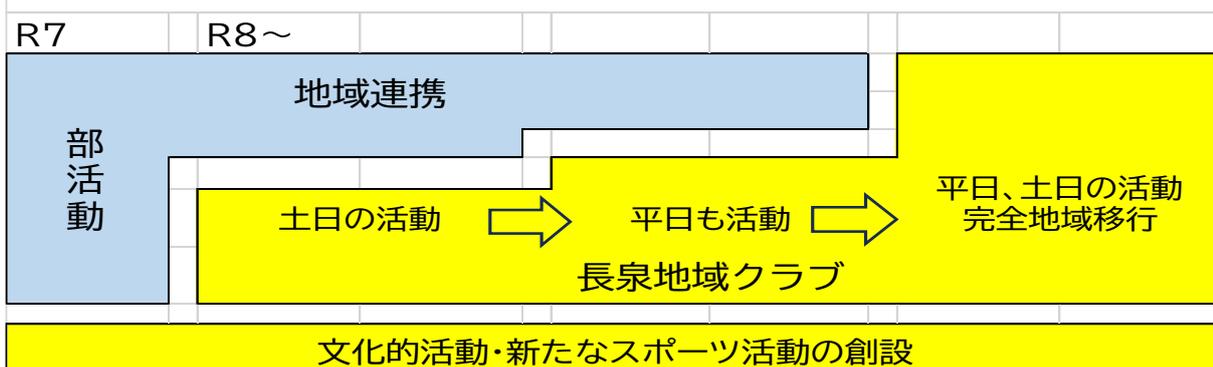
「部活動地域移行コーディネーター」が地域との調整をしていきます。

- ・学校（部活動）とスポーツ団体や文化芸術団体をつないでいきます。
- ・指導者を発掘し「人材リスト」を作成し、指導に必要な研修会を実施します。
- ・部活動指導員、外部指導者やボランティアと部活動の連携を行っていきます。

部活動の地域移行計画 ～ 長泉モデル ～

- ① 学校部活動は、地域連携を充実していき、長泉地域クラブとして土日の活動から地域に移行していきます。将来的には平日の活動も地域クラブに移行し、活動していきます。
- ② 部活動がない競技種目は、希望により長泉地域クラブとして活動していきます。新しい競技については、競技団体の活動を支援していきます。
- ③ 文化芸術的な活動は、はぴはぴサークルや文化協会等の教室・サークル活動で中学生が参加できる枠を広げ、広く紹介し参加を募集していきます。

部活動は「地域連携」から「長泉地域クラブ」に移行していきます。



部活動の地域連携とは

- ・学校教育の一環として、学校が主体になって活動します。
- ・部活動顧問や部活動指導員が指導に当たり、地域の人材やスポーツや文化団体の関係者が、外部指導者やボランティアとして活動の支援をしていきます。
- ・部活動の運営組織をつくり、様々な活動を支援していきます。

地域の指導者が頑張っています。(地域連携になります)

部活動指導員3名、外部指導者7名が指導を行っています。

部活動指導員：部活動顧問として技術的な指導を行います。大会の引率など単独で部活動を実施できます。報酬がありますが、町の職員として任用され、兼業等の制限もあります。

外部指導者：顧問の教員と連携しながらコーチとして技術的な指導を行います。単独での部活動指導はできませんが、報酬があります。

部活動ボランティア：顧問の教員の指示のもとで、生徒の活動を支援し、アドバイスや見守りをします。ボランティア保険に加入はしますが、報酬はありません。



地域クラブへの移行とは

- ・地域クラブとは、社会教育として行う地域のスポーツ・文化芸術的な活動です。
- ・学校ではない実施主体が運営し、指導は地域の人材やスポーツ・文化団体の指導者が行います。

「長泉地域クラブ」とは

- ・部活動の受け皿となる団体を「長泉地域クラブ」とします。

(長泉地域クラブは、民間の競技志向の強いクラブとは目的が異なり、町内の生徒が部活動の受け皿となる活動を行い、部活動の教育的意義を継承し、学校の教育活動にも協力していく団体です。)

- ・町内の中学生を対象とし、希望する生徒は誰でも加入できる団体とします。
- ・主に学校施設を使用して活動し、中体連の大会にも参加できます。

地域クラブへの移行は、部活動や受け皿となる団体の状況によって、移行計画や移行後の運営方法が違っていきます。団体ごとに個別の移行計画を立てていきます。

地域クラブへ移行するためには解決すべき課題があります。

- ① 地域クラブを総括・管理監督する実施主体や運営団体の設立
- ② 地域クラブの規約、指導者や役員の組織
(規約には、傷害補償や会費等の経費に関わることも含まれます。)
- ③ 指導者の確保「人材リスト」の作成、指導者研修会の実施
- ④ 学校施設の利用、土日の施設開放の管理やセキュリティの整備 (更衣室や部室の使用)
- ⑤ 日没や安全を考えた活動時間
- ⑥ クラブ員や指導者との連絡方法の確立 等

モデル事業を実施して、これらの課題を検討していきます。

モデル事業について

長泉型部活動の実施状況や地域クラブへの移行経過についてモデル事業を行い、成果や課題等を検証していきます。

令和6年度後期モデル事業

- ・部活動指導員・外部指導者による指導組織と運営組織を確立
- ・文化部における練習場の確保と学校開放の環境整備
- ・学校の部活動にない種目の地域クラブへの移行

学校部活動の地域移行に伴う大会等への参加について

中学校体育連盟が主催する大会については、現在、地域クラブ（部活動の受け皿として公認されたクラブ）も出場できるようになっています。全国大会や県大会の要項、駿東地区大会の実施方法も確認して参加準備を進めていきます。

競技団体が主催する大会においても将来的に地域クラブとして参加することになります。そのために参加資格を満たすような地域クラブの組織（特に指導者資格）にしていくことが必要です。

地域移行の経過（長泉モデル）について広報活動や説明会は、

部活動の地域移行については、中学校の先生方、中学生、小学生とその保護者に説明していきます。また、受け皿となるスポーツ協会をはじめ地域のスポーツ団体、文化協会の関係者にも丁寧な説明と協力を依頼していきます。

- 広報「ながいずみ」、HP掲載、リーフレット「部活動の地域移行について」の発行
（中学校・小学校高学年の保護者向け、関係団体に向けて進捗状況を知らせる）
- 中学校教員への説明や受け皿となる団体との打合せ会
- 中学生、小学生と保護者への説明
- スポーツ協会、文化協会等への説明会の実施と協力依頼
 - ・受け皿となる団体との個別の連絡調整会の実施

部活動地域移行推進計画の見直しについて

部活動の実態や受け皿となる団体の現状によって進捗状況が異なります。また、中学校体育連盟の大会参加条件も年々変わっています。そのため、この地域移行推進計画は、部活動地域移行推進協議会において毎年見直しを行っていきます。

令和7年度の方向性

- (1) 学校の部活動は、今までどおり行っていきます。(部活動がすぐになくなることはありません)
 - ・活動日や活動時間が短くなる場合があります。
 - ・今後、土日の活動が地域クラブに移行することもあります。
- (2) 部活動の地域連携を進めていきます。
 - ・部活動指導員・外部指導者・ボランティアの登録を進めていきます。
 - ・部活動を支える組織を作っていきます。
- (3) 長泉地域クラブへ移行の準備を進めていきます。